

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工 事 名

工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社



受 付 日： 令和 5 年 2 月 13 日

〔 5号碎石 (S-20) 〕

令和 5 年 4 月 1 日

発行責任者 所 長 小 林 宏 成



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和5年2月13日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和5年2月13日
試験日		令和5年2月14日 ～ 令和5年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	5号碎石(S-20)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目				試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率		7.09
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %		0.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l		1.55
		実積率 %		57.6
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して		—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³		2.72
		絶乾密度 g/cm ³		2.69
		吸水率 %		0.95
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %		13.0
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %		3.4
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %		0.05
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %		—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %		—
技術管理者		榎田 直也		
試験担当者		榎田 直也		

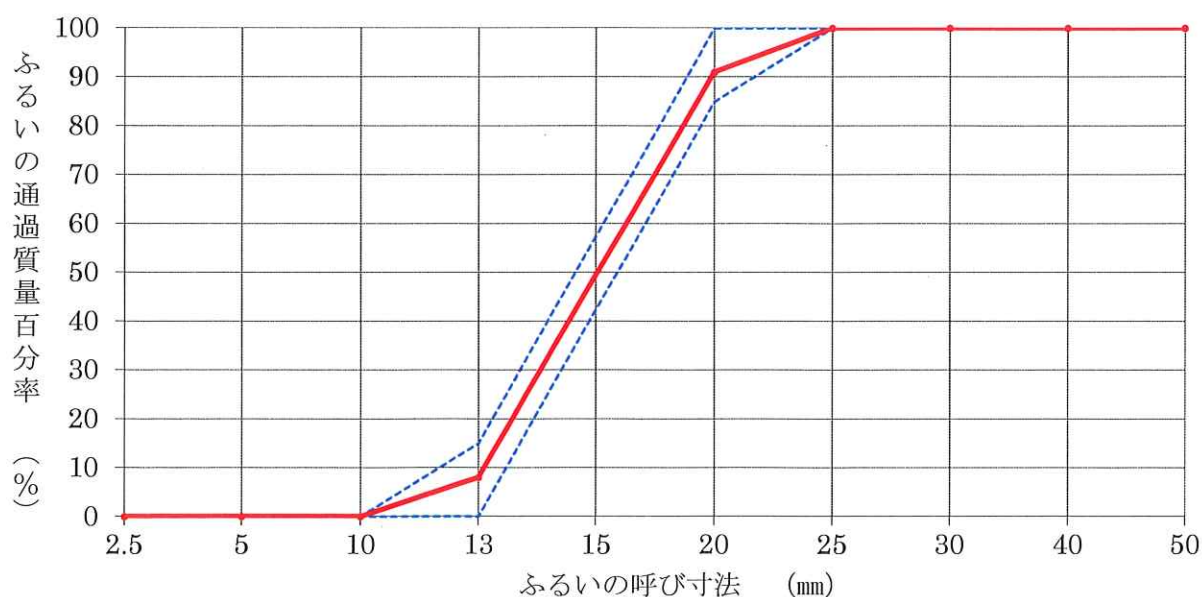
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 5 年 2 月 17 日			
試料	種類	5号砕石(S-20)	最大寸法	20 mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 5 年 2 月 13 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	4450	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	0	0	0	100
(25)	0	0	0	100
20	383	9	9	91
(15)	1651	37	46	54
(13)	2055	46	92	8
10	341	8	100	0
5	12	0	100	0
2.5	1	0	100	0
受け皿	7	0	100	0
合計	4450	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.00	粗粒率	7.09	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 2 月 17 日	
試 料	種 類	5号砕石(S-20)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 5 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量	(g) m_1	2335.6	2114.3
洗った後の試料の乾燥質量	(g) m_2	2329.5	2108.9
骨材の 微粒分量	$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%) A	0.3	0.3
2回の試験の平均値		0.3	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 5 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		5号砕石(S-20)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単 位 容 積 質 量	容器の質量	(kg) (1)	6.700	6.700
	容器の容積	(l) V	9.953	9.953
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	22.108	22.110
	試料の質量＝(2)－(1)	(kg) m ₁	15.408	15.410
	単位容積質量＝ $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.55	1.55
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.55	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実 積 率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.69	
	実積率＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	57.6	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 5 年 2 月 24 日	
試 料	種 類		5号碎石(S-20)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 5 年 2 月 13 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表 乾 密 度	表乾状態の試料の質量 (g)	m ₁	2550.2	2544.2
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	2012.7	2008.2
	金網かごの水中質量 (g)	m ₃	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _s	2.72	2.72
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_s$	2.72	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶 乾 密 度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m ₄	2526.1	2520.3
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _d	2.69	2.69
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_d$	2.69	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸 水 率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.95	0.95
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	0.95	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.00

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 5 年 3 月 16 日			
試 料		種 類		5号砕石(S-20)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 5 年 2 月 13 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1-\frac{m_2}{m_1})\times 100$	骨材の損失 質量分率 $\frac{① \times P_1}{100}$
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	(g)	(g)	(%)	(%)
10	5	12	0	—	—	3.7	0.0
15	10	2396	54	507	488	3.7	2.0
20	15	1651	37	755	732	3.0	1.1
25	20	383	9	1019	985	3.3	0.3
40	25	0	0	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		4442	100	—	—	—	3.4

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 2 月 21 日	
試 料	種 類	5号砕石 (S-20)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 5 年 2 月 13 日	
	採取場所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	2114
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	2113
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.05

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

本書の取扱いについて

- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社 M・T 技研 中央材料研究所
〒916-0068 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723